

「生きるために食べにおいで」

大阪・豊中 困窮者に「大人食堂」

子ども食堂を兼ねる大阪府豊中市の飲食店「ごはん処 おかえり」が、年末年始に生活に困った人たちのため「大人食堂」を開いている。元日には白みその雑煮も振る舞う予定。運営する上野敏子さん(52)は「生きるために食べにおいで」と呼びかける。

1年余り前に開店し、子どもたちに無料で食事を提供してきた。大人からも生活相談を受けてきたが、新型コロナウイルスの影響で、給料減による生活苦や、長引く巣ごもり生活で

配偶者からの暴力を訴える人らが増えたという。

年末年始は多くの支援窓口が休みになるため、15日まで休みなしで食堂を開く。大人は1食500円だが、店頭には他の客や支援者が先払いした「お福分券」が貼られており、利用すれば無料で食べられる。

店は豊中市庄内西町3の10の26。原則午前10時〜午後9時。連絡があれば、営業時間外でも店を開けるといふ。問い合わせは上野さん(080・5319・1368)。(久保田侑暉)